

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和5年4月3日

下関短期大学付属第二幼稚園

1 本園の教育目標

「一人ひとりの子どもの可能性を引き出す」

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・ チャレンジ目標アクションプランを展開する。
- ・ 危機管理体制を強化する。

チャレンジ目標：考える、決める、やってみる！

3 評価項目の達成及び取組状況

	評価項目	評価	取組状況
1	チャレンジ目標アクションプランを展開する。	B	指導計画にチャレンジ目標との関連を明記したり、学級通信で毎月の目標を知らせたりした。
2	危機管理体制を強化する。	A	1年かけてコンプライアンスマニュアルを策定した。園バス安全管理規程を作成し、周知した。
3	中期計画に基づいた取組を開始する。	取組はA 成果は今後評価	短大教員と2度の協議会をもち、研究主題と今後の取組について決定した。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4 総合的な評価結果

評価	理由
A	<ul style="list-style-type: none">・ 園評価アンケートのポイントが非常に高い。・ 中期計画に基づき、教職員のスキルアップ研修を計画的に行っている。・ 園の雰囲気がとても良く、保護者からの不満の声も聞かない。

5 今後取り組む課題

	課題	具体的な取組方法
1	教職員の教育力・保育力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none">・ 短大保育学科との協働による研究実践を推進する。・ 園内研修、園外研修、自主研修、互見保育を充実させる。
2	教職員の危機管理能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none">・ 全マニュアルの改訂を行い、全員がファイリング管理する。・ 昨年度策定したコンプライアンスマニュアルを徹底する。
3	中期計画に基づいた取組の継続	<ul style="list-style-type: none">・ HPを充実させ、さらにSNSを使った情報発信を行う。・ 教職員全員参加による地域ボランティア活動を行う。

6 学校関係者評価委員の評価

園評価アンケートの「子どもが園に楽しく通っている」に対する保護者の回答の肯定率100%というのは、チャレンジ目標の成果が子どもの姿に表れていると見ていい。

中期計画に非常に期待する。新型コロナによる様々な制限を乗り越えながら、新しい取組を戦略的に行っているため、活気を感じる。短大の付属園という強みも十分生かされている。新型コロナが落ち着いてきたら、今後は幼小連携や地域連携を推し進めてほしい。

情報発信は園だけでなく、保護者も巻き込み、保護者からも発信できるものを考えてはどうか。保護者も園の教育に対してさらに関心が強まり、参画意識も高まると思う。